

大規模災害時応援事業体用マニュアル

横浜市水道局

令和 6年 3月 策定

目次

1	マニュアルの目的.....	1
2	災害時における横浜市水道局の体制.....	1
①	水道局本部.....	2
②	水道事務所班.....	2
③	現地応援本部.....	3
3	応援隊の皆さまが担っていただく役割.....	4
①	先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊の皆さま.....	4
②	幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま.....	5
③	情報伝達について.....	5
4	応援隊受入れにあたっての基本事項.....	6
①	応援隊の集合場所.....	6
②	到着直後のやりとり.....	6
③	宿泊施設の確保.....	7
④	食糧の確保.....	7
⑤	事務機器の携行.....	7
⑥	活動スペース.....	7
⑦	必要となる資機材.....	7
⑧	応急活動時に利用できる拠点施設.....	8
⑨	車両.....	9
⑩	困ったときの連絡先.....	9
5	応急給水作業にあたり留意していただく事項.....	10
①	応急給水活動フロー.....	10
②	留意点.....	11
6	応急復旧作業にあたり留意していただく事項.....	13
①	応急復旧活動フロー.....	13
②	留意点.....	14
7	応急活動にあたって必要となる資料.....	17
8	横浜市水道局の事業概要等.....	17
9	使用する書類の様式一覧.....	18

1 マニュアルの目的

横浜市水道局では、大規模災害、水質汚染事故等が発生した場合、水道事業者及び日本水道協会等と交わした、「災害時相互応援に関する協定」等に基づき、他都市の水道事業者に対し、応援要請を行うこととしています。

本マニュアルでは、横浜市水道局が、他都市の水道事業者から応急給水及び応急復旧の応援隊を受け入れるにあたり、事前に知っておいていただきたい内容を記し、事前に周知することで、円滑な応急給水・応急復旧等を図ることを目的としています。

2 災害時における横浜市水道局の体制

災害時において、横浜市水道局が他都市応援隊を受け入れた際の組織体制は、図1のようになります。

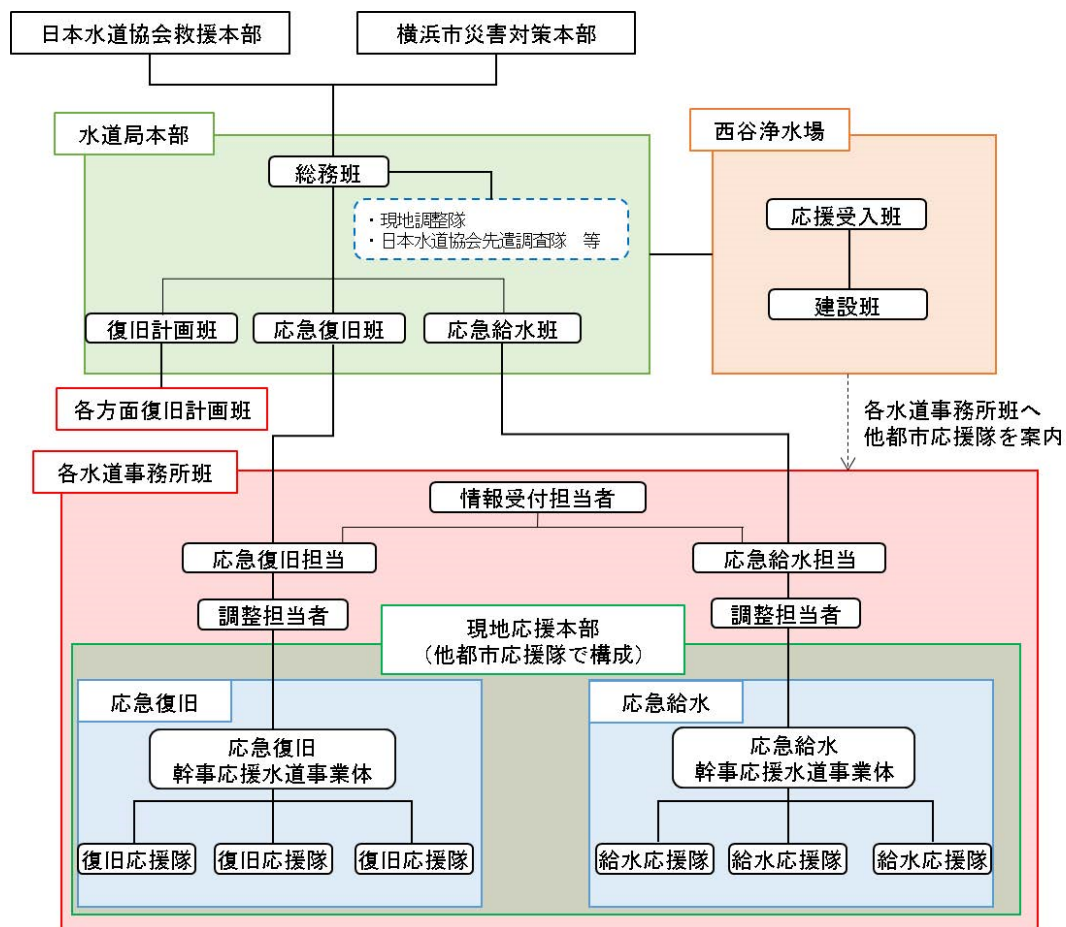


図1 受援時の組織体制図

① 水道局本部

水道局本部は、災害時における応急活動等の基本方針や対応目標、他都市応援隊への応援要請などの決定を行います。水道局の本部体制は、図2のようになります。

水道局本部は、水道局本庁舎（横浜市役所 20F）に設置します。ただし、庁舎の被害状況等から、水道局本庁舎に設置できない場合は、西谷浄水場を代替施設として設置します。（表1）

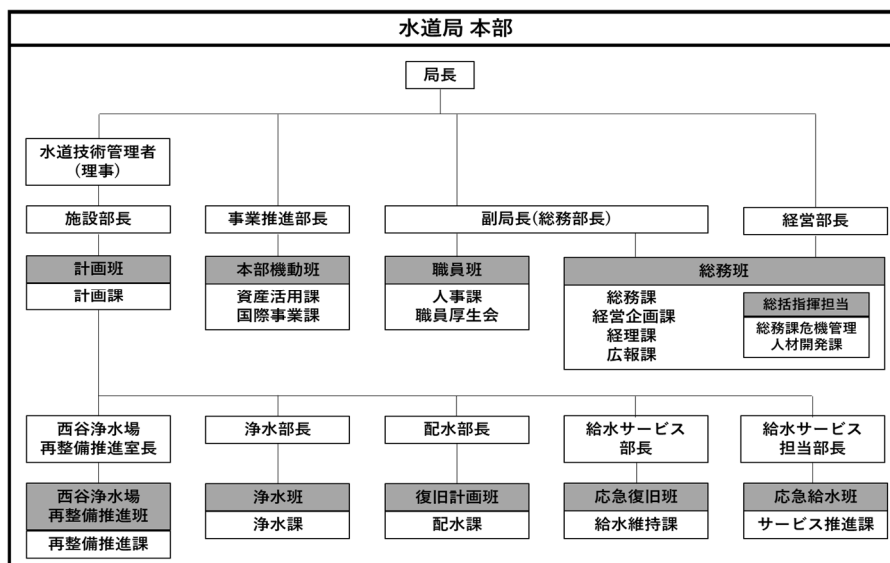


図2 水道局本部の組織体制図

表1 水道局本部を設置する庁舎

優先順位	設置する庁舎	住所
1	横浜市役所	横浜市中区本町6丁目50-10
2	西谷浄水場	横浜市保土ヶ谷区川島町552

② 水道事務所班

水道事務所班は、各方面における災害時の活動拠点として設置します。他都市応援隊の皆さまは、各水道事務所班での応援活動をお願いします。

水道事務所班では、被害や災害活動状況の把握など、所管区域内の情報を集約するとともに、水道局本部が決定した応急活動計画に基づき具体的な活動内容（応急給水、応急復旧）を立案し実施します。

なお、市内に水道事務所は7箇所あります。各水道事務所の所管区域については図3を参照してください。

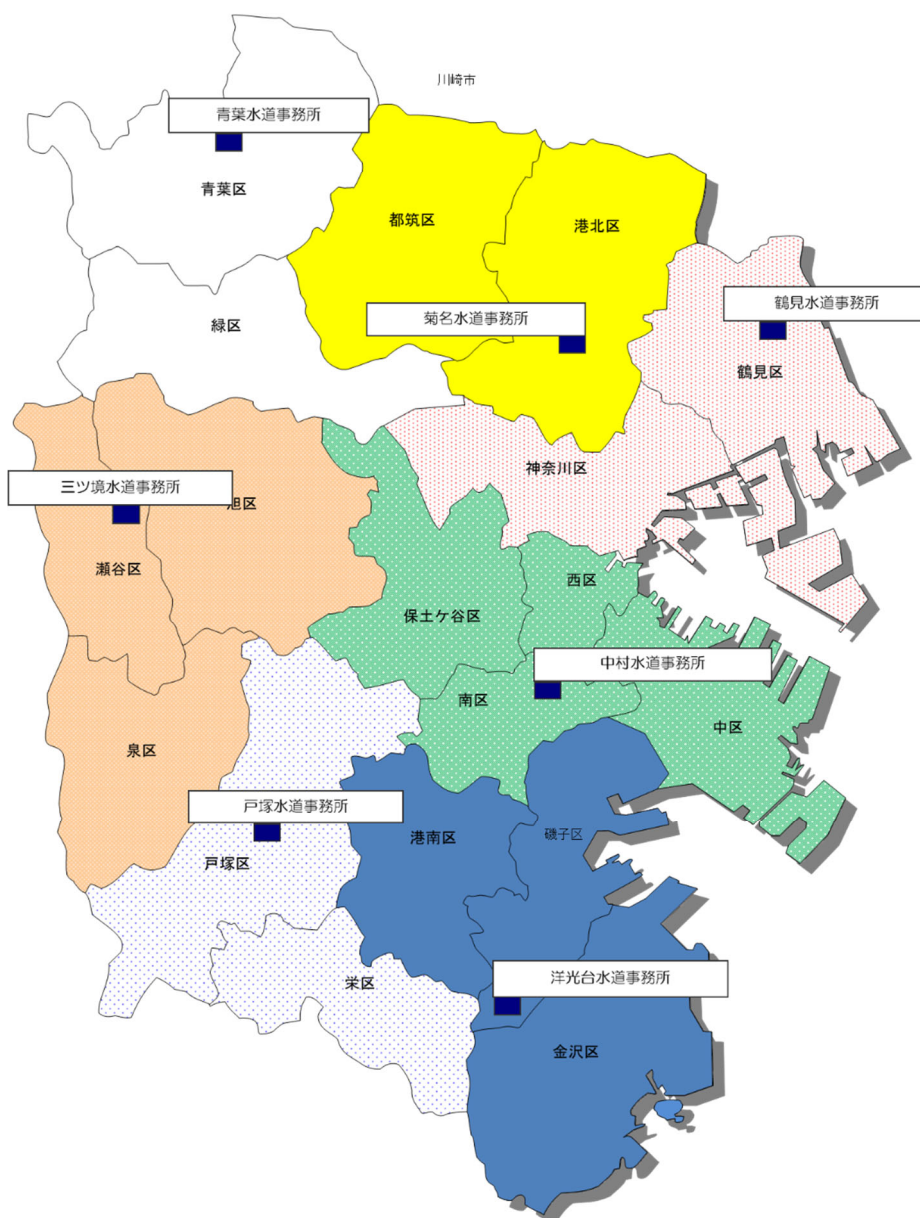


図3 所管区域図（水道事務所）

③ 現地応援本部

現地応援本部は、一つの水道事務所に複数の他都市応援隊が入る場合や、指揮命令系統の整理が必要と認められる場合に、該当する各水道事務所に設置します。

また、現地応援本部は、他都市応援隊の職員、その他必要があると認められる者で構成し、水道事務所班は幹事応援水道事業体を通じて現地応援本部との連携を図ります。

3 応援隊の皆さまが担っていただく役割

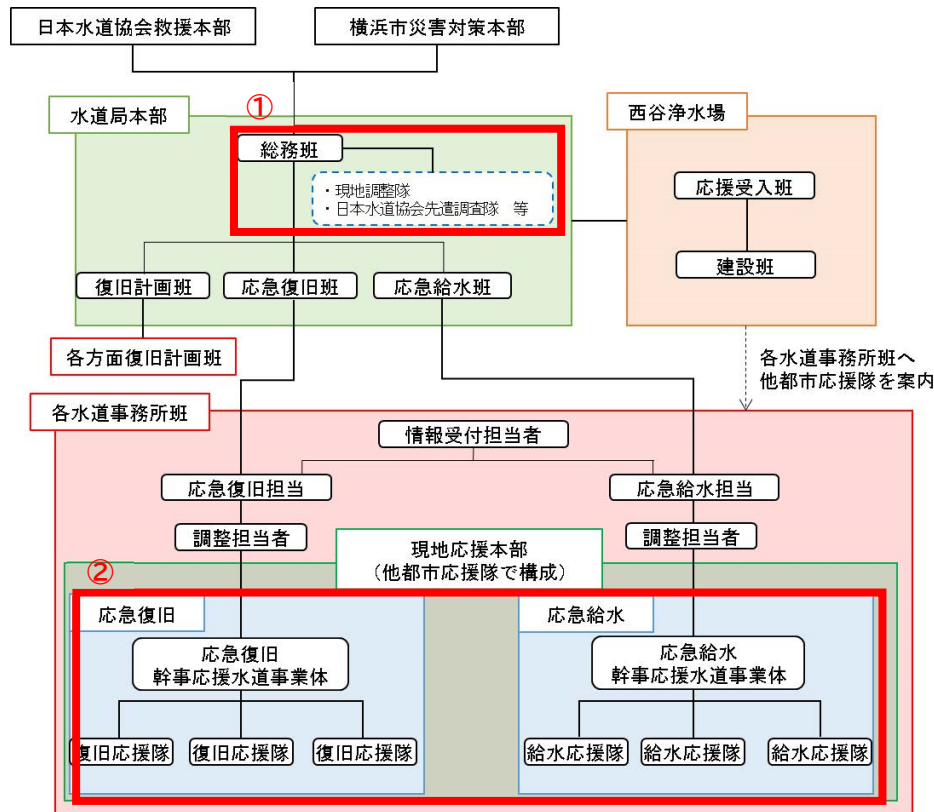


図4 受援時の組織体制図（応援隊）

① 先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊の皆さま

水道局本部の総務班（総括指揮担当）と合流し、水道局本部等と情報共有を図りながら応援活動を行います。

【先遣調査隊の主な役割】

- 応援要請の決定に必要な被害状況等の詳細調査に係る支援
- 被災水道事業者のニーズ等の聞き取り

【現地調整隊の主な役割】

- 応援要請内容に関わる応急給水班及び応急復旧班等との調整
- 他都市等への応援要請・連絡調整
- 他都市応援隊の配置に関わる応急給水班及び応急復旧班等との連携
- 応援活動状況の把握
- 水道局本部会議への出席及び応援活動状況に関する報告
- 総務班（統括指揮担当）の業務支援

【広域調整隊の主な役割】

- 被災水道事業体における水道施設の被害状況の全体把握
- 応援要請・活動状況の全体把握と総合調整
- 広域的な応援体制の確立に係る諸調整

② 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま

現地応援本部には、他都市応援隊（復旧応援隊、給水応援隊）のほか、他都市応援隊の応急活動を統括する「応急給水幹事応援水道事業体」及び「応急復旧幹事応援水道事業体」（以下、「幹事応援水道事業体」と呼ぶ）を置きます。

幹事応援水道事業体は、日水協の「地震等緊急時の手引き」に基づき、水道事務所班と情報共有を図るとともに、他都市応援隊を総括します。他都市応援隊は、幹事応援水道事業体の指示のもと、応急活動に従事します。

【幹事応援水道事業体（現地応援本部）の主な役割】

- 水道事務所班との連絡調整及び情報共有
- 水道事務所班との応援活動内容の審議
- 他都市応援隊への作業指示及び集約
- 他都市応援隊の受入及び交代の管理
- 活動報告書の集約及び水道事務所班への活動報告

【他都市応援隊（現地応援本部）の主な役割】

- 応急活動の実施及び報告書の作成
- 幹事応援水道事業体への活動状況報告及び報告書の提出

※幹事応援水道事業体は、原則として日水協地方支部長や都府県支部長または大都市水道事業体の応援隊を充てるものとします。

③ 情報伝達について

- 先遣調査隊・現地調整隊は、総務班との密な情報共有をお願いします。
- 広域調整隊は、水道局本部及び現地調整隊との密な情報共有をお願いします。
- 幹事応援水道事業体は、水道事務所班の調整担当者との密な情報共有をお願いします。
- 他都市応援隊は、幹事応援水道事業体との密な情報共有をお願いします。

4 応援隊受入れにあたっての基本事項

応援隊の皆さまが集合場所に到着して必要となる情報をお伝えします。

① 応援隊の集合場所

■ 先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊の皆さま

横浜市役所本庁舎（水道局 20 階）への集合をお願いします。ただし、庁舎の被害状況等から、水道局本庁舎に設置できない場合は、西谷浄水場を代替施設として設置します。（表 1）

■ 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま

第 1 参集場所に指定している「西谷浄水場」への集合をお願いします。ただし、道路等の被害が甚大で車両通行が困難な場合などは、第 2 参集場所として「川井浄水場」への集合をお願いする場合があります。（表 2）

表 2 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の参集場所

集合場所	住所
第 1 順位：西谷浄水場	横浜市保土ヶ谷区川島町 552
第 2 順位：川井浄水場	横浜市旭区上川井町 2555

② 到着直後のやりとり

■ 受付（全ての応援隊）

集合場所にて、応援受入班が【応援体制報告書（様式 派遣-4, 5）】により受付を行い、応援隊の皆さまから、責任代表者氏名、連絡方法、準備資機材等を確認させていただきます。

幹事応援水道事業体と他都市応援隊の皆さまには、応援受入班から応援活動拠点（各水道事務所）をお伝えします。

■ 受付後（先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊）

総務班（総括指揮担当）と合流し、応援活動を開始していただきます。

現地調整隊に対しては、総務班（総括指揮担当）から主な被害状況や対応状況、依頼事項等の説明を行います。

■ 受付後（幹事応援水道事業体・他都市応援隊）

活動拠点となる各水道事務所班まで案内しますので到着後、応援活動を開始してい

たきます。

水道事務所班から、主な被害状況や対応状況等の説明を行い、「応急給水作業指示書」、「応急復旧作業指示書」等により活動内容の指示を行います。また、幹事応援水道事業体には、応急活動マニュアルに基づき作業方法について説明を行います。

③ 宿泊施設の確保

被災状況により提供できない事態も想定されますので、原則応援事業体にて宿泊施設を確保するようお願いします。応援隊による確保が困難な場合には、応援受入班が応援者受入拠点（宿泊場所）を決定し、各水道事務所班が案内します。

④ 食糧の確保

被災状況により提供できない事態も想定されますので、原則応援事業体にて食料を確保するようお願いします。応援都市による確保が困難な場合には、可能な限り水缶、アルファ米等を横浜市水道局（各水道事務所班）において提供します。

⑤ 事務機器の携行

パソコンや通信機器などの事務機器は、可能な限り応援隊による自己携行をお願いします。但し、応援期間中に急遽必要になった場合には、横浜市水道局において可能な限り提供します。

⑥ 活動スペース

■ 先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊の皆さま

水道局本部を設置する庁舎内にて、執務及び車両駐車スペースを確保します。

■ 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま

各水道事務所内にて、執務及び車両駐車スペースを確保します。

⑦ 必要となる資機材

応援隊の皆さまにおかれましては、日本水道協会「地震等緊急時対応の手引き」を参考に、必要となる資機材を持参していただくようお願いします。

なお、応急給水、応急復旧（漏水調査）に必要な器具のうち、不足する資機材については、各水道事務所班等から供給、貸し出しさせていただきます。

⑧ 応急活動時に利用できる拠点施設

■ 応急給水資機材備蓄拠点

応急給水に用いる車載用給水タンク等を市内 13 カ所に分散して備蓄しています。

- ポリ製給水タンク（1000L）約 80 基
- ポリ製給水タンク（300L）約 140 基
- アルミタンク（1800L）18 基

■ 応急復旧資機材備蓄拠点

応急復旧用の水道管は、小口径（300mm 以下）と大口径（400mm 以上）に分類し、市内それぞれ 4 カ所、5 カ所に分散して備蓄しています。

- ダクタイル鋳鉄管（口径 100～300mm）約 300 か所復旧分
- ダクタイル鋳鉄管（口径 400～1800mm）約 45 か所復旧分



⑨ 車両

被災状況により緊急通行車両以外の一般車両の通行が禁止・制限されることがありますので、緊急通行車両確認証明書及び標章の交付を受け、証明書は車両に備え付け、標章は当該車両の前面の見やすい箇所に掲示してください。

また、ガソリンについては各水道事務所班が、補給場所や補給方法等についてお伝えします。

⑩ 困ったときの連絡先

【発災当初の連絡窓口】

総務班（総務部総務課）

電話 045(671)3106

FAX 045(212)1155

衛星携帯 080-1369-6048

【他都市応援隊参集時の連絡窓口】

応援受入班（施設部技術監理課）

電話 045(331)6600

FAX 045(332)5476

衛星電話 080-8469-4372

5 応急給水作業にあたり留意していただく事項

応急給水活動に関する具体的な内容は、活動拠点（各水道事務所）での説明になりますが、応急給水における活動フロー、留意点について記載します。

① 応急給水活動フロー

I. 【共有】

応急給水班（水道局本部）が作成した応急給水計画が、各水道事務所班（応急給水担当）に共有されます。

II. 【活動内容の決定】

水道事務所班と幹事応援水道事業者は、応急給水計画に基づき、所管区域内における他都市応援隊の配置計画及び活動内容について審議を行い、決定していきます。

III. 【指示】

幹事応援水道事業者は、他都市応援隊に対して被害状況等の説明を行うとともに、決定した配置計画及び活動内容について指示を行います。

- 【応急給水作業指示書（様式：給水-3(1)）】

IV. 【報告書の作成】

他都市応援隊は、活動終了後に活動報告書を作成し、幹事応援水道事業者へ提出します。

- 【応急給水作業車両（日報）（様式：給水-3(2)）】

V. 【報告】

幹事応援水道事業者は、他都市応援隊が作成する活動報告書を集約し、水道事務所班へ随時報告を行います。

- 【応急給水活動集計表（日報）（様式：給水-5）】

② 留意点

運搬給水等の応急活動については、水道事務所班もしくは幹事応援水道事業体から具体的な指示を行います。事前に参考となる情報を記載します。

■ 給水車の取水場所

給水車の取水場所は、配水池などの災害時給水所、車両給水ステーションを活用していただきますが、交通の状況によっては運搬給水先の給水拠点周辺で運用できる消火栓等も活用いただきます。

■ 応急給水場所

地域防災拠点、福祉避難所への運搬給水を優先的に行っていただきます。災害拠点病院・救急告示医療機関（63 機関）に対しては、局職員や管工事組合が消火栓から受水槽への給水を行います。発災初期や消火栓使用不可の場合は運搬給水を行っていただく場合があります。

■ 応急給水活動時間



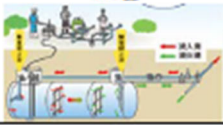


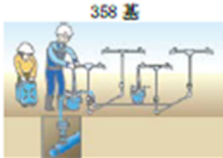



配水池の開設及び運搬給水の時間は、原則 9 時から 17 時までとします（作業時間は 8 時から 18 時）。ただし、並んでいる人がいる場合は、並んでいる人すべてに給水するか、給水車に積載した水が空になるまで作業を行ってください。

■ 応急給水方法

拠点給水は、給水タンク（1800ℓ、1000ℓ（ポリ製）、1000ℓ（組立式）、300）やキャンバス水槽（2000ℓ、1000ℓ）を現地へ設置して、給水車から補給し、応急給水を行います。

■ 応急給水施設

横浜市水道局が設置する応急給水施設と、その施設の開設者は 図 6 のようになります。

災害時の飲料水確保方法					災害時に必要とされる水の量（1人あたり）		
目印	施設の種類等	分類	開設者	発災直後～ 3日目まで 3日間計9リットル以上 （1日あたり3リットル）	発災後4～ 7日目まで 4日間計40リットル以上 （1日あたり10リットル）	発災後8～ 14日目以降 7日間計140リットル以上 （1日あたり20リットル）	
ご家庭・企業	備蓄している飲料水 	自助	—	備蓄による水の確保 （1人9リットル以上）			
災害時給水所	標準  災害用地下給水タンク 134基 	共助	地域の皆さま （管工事協同組合は 開設補助）	地域の皆さま自身による水の確保 ※容器をご持参ください。			
	のぼり  配水池 22か所 	公助	水道局職員	地域の皆さまへの配水池での給水 ※容器をご持参ください。			
	緊急給水栓 358基 		水道局職員・ 管工事協同組合	地域の皆さまへの緊急給水栓での給水 ※容器をご持参ください。			
	給水車 19台 		水道局職員・ 応援都市職員	医療機関への給水車による運搬給水（水道局） 地域の皆さまへの給水車による運搬給水（応援都市） ※容器をご持参ください。			
看板  耐震給水栓 48基（～2023年） 	共助	開設不要 （地域防災拠点 運営委員等で 運用）	地域の皆さま自身による給水 ※容器をご持参ください。				

- ※1 災害用地下給水タンク（134基）…平時は水道管の一部として機能し、震災時に水道管の圧力が低下した場合弁が閉まり、タンク内に新鮮な水を確保します（標準 60 m³）。
- ※2 配水池（22か所）…平時は水道水を貯めて家庭に送水する中継拠点として機能し、災害時は給水にも利用します。
- ※3 緊急給水栓（358基）…地震に強い水道管に臨時の給水栓を設置して給水する施設です。
- ※4 耐震給水栓（48基（令和5年までに整備予定））…災害用地下給水タンクや学校受水槽などの施設が設置されていない地域防災拠点において、配水管から屋外水飲み場までを耐震化し、災害時の応急給水を可能とするものです。

図6 応急給水施設一覧

6 応急復旧作業にあたり留意していただく事項

応急復旧活動に関する具体的な内容は、活動拠点（各水道事務所）での説明になります。が、応急復旧における活動フロー、留意点について記載します。

① 応急復旧活動フロー

I. 【共有】

復旧計画班及び応急復旧班（共に水道局本部）が作成した応急復旧計画が、各水道事務所班（応急復旧担当）に共有されます。

II. 【活動内容の決定】

水道事務所班と幹事応援水道事業者は、応急復旧計画に基づき、所管区域内における他都市応援隊の配置計画及び活動内容について審議を行い、決定していきます。

III. 【指示】

幹事応援水道事業者は、他都市応援隊に対して被害状況等の説明を行うとともに、決定した配置計画及び活動内容について指示を行います。

- 【漏水調査作業指示書（様式：復旧-3）】（漏水調査）
- 【管路復旧作業指示書（様式：復旧-6）】（管路修理）

IV. 【報告書の作成】

他都市応援隊は、活動終了後に活動報告書を作成し、幹事応援水道事業者へ提出します。

- 【漏水調査及びパトロール報告書（様式：復旧-4）】（漏水調査）
- 【管路修理報告書（様式：復旧-7）】（管路修理）

V. 【報告】

幹事応援水道事業者は、他都市応援隊が作成する活動報告書を集約し、水道事務所班へ随時報告を行います。

- 【応急復旧活動対応表（様式：復旧-8）】（漏水調査）
- 【管路被害算定表（様式：復旧-9）】（管路修理）
- 【管路修理集約表（様式：復旧-10）】（管路修理）

② 留意点

■ 配水管の修理

復旧に使用する配水管等の資材は原則として横浜市のものを使用しますが、緊急時や材料が不足している等の場合は他都市のものを使用出来るものとします。

その際は、【管路修理報告書（様式：復旧-7）】及び図面に明示してください。

■ 残土仮置場

応急復旧作業で発生した残土は、浄水場（3カ所）や配水池（7カ所）で仮置きができます。

■ 給水引込管の修理

配水管分岐部から止水栓までの給水装置の修繕は、横浜市が主として行い、止水栓から民地側の給水装置修繕は、使用者が指定給水装置工事業者に直接依頼し修繕を行うこととします。（図7）

住民の要望等により必要と認められる場合は、仮設水栓を設置します。

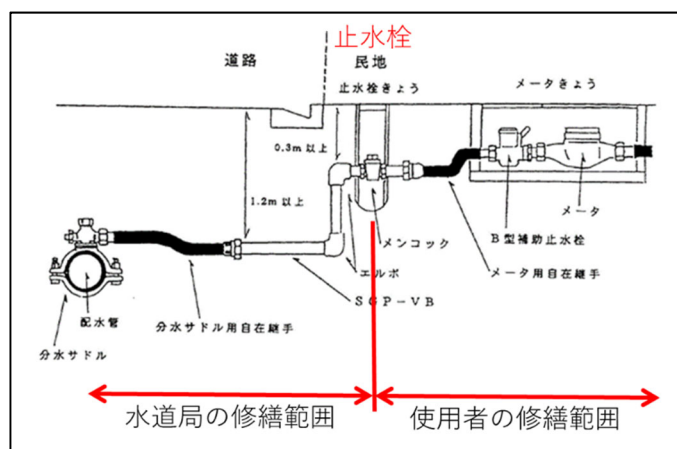


図7 給水引込管の応急復旧工事範囲（例）

■ 栓弁類の操作方法

仕切弁開閉：右回し⇒開、左回し⇒閉

消火栓開閉：右回し⇒開、左回し⇒閉

空気弁開閉：右回し⇒閉、左回し⇒開

(工業用水管付属弁類及び給水管付属止水栓等：右回し⇒閉、左回し⇒開)

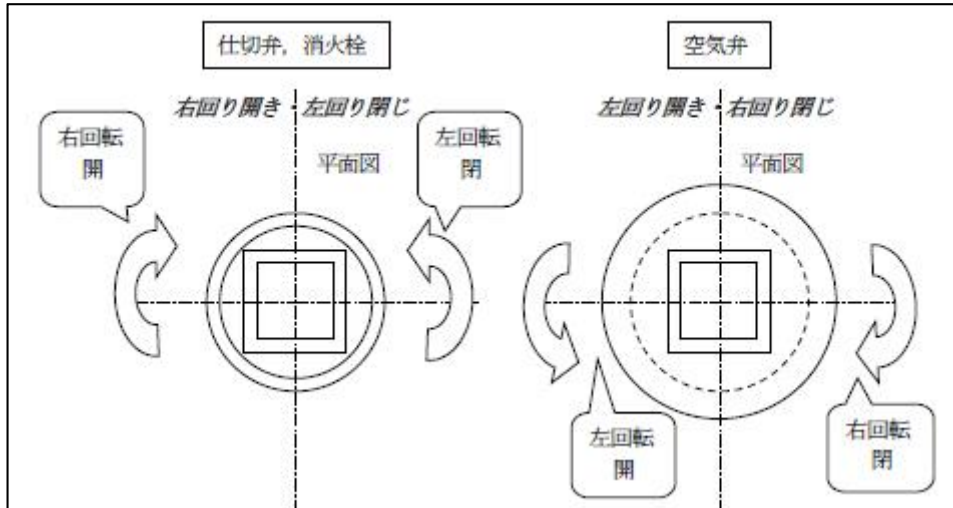


図8 バルブ操作の回転方向

■ 配水ブロックについて

漏水調査及び応急復旧は、配水系統に基づくブロック単位とし、復旧状況に応じて他都市応援隊を配置します。



図9 配水ブロック図

7 応急活動にあたって必要となる資料

応急活動にあたって必要となる各種資料については、各水道事務所班から他都市応援隊の皆さまに共有します。

【共有資料一覧】

- (ア) 横浜市水道施設概要図
- (イ) 配水系統(ブロック)図(S=1/30,000)
- (ウ) 行政区配水管系統図(S=1/10,000)
- (エ) 市内配水管図・締切バルブ台帳(S=1/5,000 赤本)
- (オ) 水道配管平面図(S=1/500)
- (カ) 緊急給水栓復旧ルート図(S=1/10,000)
 - ・ 幹線ルートと口径、管種を明示
 - ・ 緊急給水栓設置場所(施設名称)を明示
 - ・ 復旧優先順位を明示
- (キ) 幹線ルート図(S=1/10,000)
 - ・ 口径、管種、仕切弁、空気弁、排水設備を明示
 - ・ 仕切弁、空気弁、排水設備には操作番号を明示
 - ・ 復旧優先順位を明示
- (ク) 住宅地図(S=1/1,500)
- (ケ) 重要構造物、管路の完成図及び災害用地下給水タンク関係資料
- (コ) 各種台帳(バルブ台帳「型式、開閉状況」、水管橋台帳等)
- (サ) 資機材、残土置場等案内図
- (シ) 備蓄材料の概要、置場面積等の明示

8 横浜市水道局の事業概要等

横浜市水道局の事業概要については、横浜市ホームページに掲載しています。

(掲載 URL)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/suido-gesui/suido/suidoujigyou/jigyogaiyou.html>

9 使用する書類の様式一覧

他都市応援隊の皆さまが、応急活動において主に使用する様式の一覧になります。

応援隊受入時	応援体制報告書（様式：派遣-4, 5）
応急給水活動時	応急給水作業指示書（様式：給水-3(1)）
	応急給水作業車両（日報）（様式：給水-3(2)）
	応急給水活動集計表（日報）（様式：給水-5）
応急復旧活動時	漏水調査作業指示書（様式：復旧-3）
	漏水調査及びパトロール報告書（様式：復旧-4）
	管路復旧作業指示書（様式：復旧-6）
	管路修理報告書（様式：復旧-7）
	応急復旧活動対応表（様式：復旧-8）
	管路被害算定表（様式：復旧-9）
	管路修理集約表（様式：復旧-10）

様式集

応急給水応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日() ～ 月 日()
-----	-------	------	-----------------

記入上の留意事項	・ 応援隊到着時、応援隊構成変更時に作成し、本部に提出
----------	-----------------------------

○応援隊連絡先

事業体名	横浜市水道局	応急給水班数	班
責任者	氏 名： 連絡先電話：	車両総数	台
給水要員	氏 名		
給水要員	氏 名		
給水要員	氏 名		

○応援隊構成

人 員	給水用具	車両台数 (タンク容量)	備 考
人			
人			
人			
人			
合 計			
人			

応急復旧応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日() ～ 月 日()
-----	-------	------	-----------------

記入上の留意事項	・ 応援隊到着時、応援隊構成変更時に作成し、水道給水対策本部に提出
----------	-----------------------------------

○応援隊連絡先

事業体名	横浜市水道局	通水及び漏水調査班数	班
総括責任者	氏 名： 連絡先電話：	応急復旧班数	班

○応援隊構成

作業内容	人 員	持参資機材等	備 考
総括班 (連絡調整)	人		
総括班 (記録)	人		
通水及び漏水調査班 (通水及び漏水調査)	人		責任者： 連絡先：
修理班 (配水管、給水管修理)	人		
修理班 (配水管、給水管修理)	人		
合 計	人		

給水-3(1)

応急給水作業指示書

作業日	年 月 日	整理番号	号
班名		記入者	

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・車両ごとに作成し給水-3(2)と一緒に渡す ・作業開始前にコピーを応急給水班に提出 ●印箇所：作業指示者が記入 ○印箇所：応急給水隊が記入
--------------	---

●作業指示内容

事業体名等	<input type="checkbox"/> 横浜市 <input type="checkbox"/> 応援隊（事業体名等： ）
給水車	<input type="checkbox"/> 2t <input type="checkbox"/> 4t <input type="checkbox"/> その他（ ） 加圧（ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無）
車載タンク車	<input type="checkbox"/> 1.8t <input type="checkbox"/> 1t <input type="checkbox"/> 3000 <input type="checkbox"/> その他（ ）
給水場所	
給水基地	
特記事項	

○応急給水隊

事業体名等	<input type="checkbox"/> 横浜市 <input type="checkbox"/> 応援隊（事業体名等： ）
責任者	氏 名： 連絡先電話：
作業員数	人 車両ナンバー —

チェック欄	送信済	(氏名)
	受取済	(氏名)

応急給水作業車両（日報）

作業日時	年 月 日 時 分	班名	
整理番号	号	メーター距離(終)	km
車両ナンバー	—	メーター距離(始)	km
給油量	リットル	走行距離/日	km

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 時系列順に作業内容を記入 作業終了後に給水－3(1)と一緒に指示者に提出
--------------	---

○作業内容 開始時間 終了時間

給水時間又は注水時間	給水場所又は 給水基地	注水量	給水量	備考 (対応者記入)
1 : ~ :		m ³	m ³	
2 : ~ :		m ³	m ³	
3 : ~ :		m ³	m ³	
4 : ~ :		m ³	m ³	
5 : ~ :		m ³	m ³	
6 : ~ :		m ³	m ³	
7 : ~ :		m ³	m ³	
8 : ~ :		m ³	m ³	
9 : ~ :		m ³	m ³	
10 : ~ :		m ³	m ³	
作業時間合計	時間 分			
給水量合計	m ³			
注水量合計	m ³			
特記事項 (給水場所の様子等を記入)				

チェック欄

送信済

(氏名)

受取済

(氏名)

給水－5

応急給水活動集計表（日報）

作業日	年 月 日 時現在	整理番号	号
-----	--------------	------	---

班 名		作成者	
-----	--	-----	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の給水作業終了後、作業車両日報【給水－3（2）】を基に作成 ・実際の給水活動の集約が目的
--------------	--

No.	事業体名	給水車 台数	主な給水場所	給水量 (㎡)	備考 (給水車の内訳等を記入)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
計					

チェック欄	送信済	(氏名)
	受取済	(氏名)

漏水調査作業指示書

作成日	年 月 日	整理番号	
-----	-------	------	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧工事ごとに作成 ・作業開始前にコピーを復旧担当に提出 ●印箇所:被災事業体復旧担当が記入 ○印箇所:漏水調査隊(班)が記入
--------------	---

●作業指示内容

事業体名・班名	
復旧場所住所	
位置図	具体的な目標:

●作業指示書(復旧担当)

事業体名・班名	
担当者	氏 名: 連絡先電話:

○漏水調査隊(漏水調査班)

事業体名・班名		従事職員数	人
連絡責任者	氏 名: 連絡先電話:	車両ナンバー	-

漏水調査及びパトロール報告書

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地調査後に記入し、当該水道事務所班に提出。 ・ 仮配管、バルブ新設等、管路を修理しない復旧工事について備考欄に内容を記載。
----------	---

整理番号	
調査日時	年 月 日 曜日 時 分
調査担当者 (代表者)	事業体名： 氏名： 電話： - -

場 所					
漏水状況	場所	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 宅地内 ※道路の場合記入（車道・歩道）			
	舗装	<input type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂利 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	道路	<input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> 損傷なし <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	漏水	<input type="checkbox"/> 漏水中 <input type="checkbox"/> 漏水痕 <input type="checkbox"/> 修理済み <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	漏水量	<input type="checkbox"/> 地上流出（大・中・小）			
漏水確認	残塩	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 給水管（メーター上流） <input type="checkbox"/> 給水管（メーター下流） <input type="checkbox"/> 不明	管種		口径	
修理	必要性	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
	緊急性	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> その他（ ）			
備 考	※ 修理者に対して指示がある場合は具体的に記入してください。				

管路復旧作業指示書

作成日	年 月 日	整理番号	
-----	-------	------	--

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧工事ごとに作成 ・作業開始前にコピーを復旧担当に提出 ●印箇所:被災事業体復旧担当が記入 ○印箇所:応急復旧隊(班)が記入
----------	---

●作業指示内容

事業体名・班名			
復旧場所住所			
漏水状況	区分	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 宅地内	舗装 <input type="checkbox"/> アスコン <input type="checkbox"/> セメコン <input type="checkbox"/> その他 (
	管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 道路部給水管 <input type="checkbox"/> 宅地部 (メーター上流)	
位置図	具体的な目標:		

●作業指示書(復旧担当)

事業体名・班名	
担当者	氏 名: 連絡先電話:

○現地応急復旧隊(応急復旧班)

事業体名・班名		従事職員数	人
連絡責任者	氏 名: 連絡先電話:	車両ナンバー	-
施工事業者	社 名: 連絡先:	現場代理人氏名	作業員数: 人 作業車両: 台

管路修理報告書

様式20 (表)
(応援水道事業体用)

記入上の留意事項	・施工前と施工後の配管図は、可能な限り詳細に記入
----------	--------------------------

整理番号			
施工期間	年 月 日 曜日 時 分 ~ 月 日 曜日 時 分		
監督者	事業体名・班名：	氏名：	電話： - -
施工業者 (代表者)	施工業者名：	氏名：	電話： - -
場所			
被害施設	<input type="checkbox"/> 管路 <input type="checkbox"/> 属具 <input type="checkbox"/> その他 ()		
修理管路	漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター上流) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター下流)	
	口径		
	材質	<input type="checkbox"/> DIP <input type="checkbox"/> CIP <input type="checkbox"/> SP <input type="checkbox"/> VP <input type="checkbox"/> ポリエチレン <input type="checkbox"/> LP <input type="checkbox"/> その他 ()	
	継手形式	<input type="checkbox"/> A形 <input type="checkbox"/> K形 <input type="checkbox"/> T形 <input type="checkbox"/> S、SⅡ型 <input type="checkbox"/> NS形 <input type="checkbox"/> KF、UF形 <input type="checkbox"/> フランジ形 <input type="checkbox"/> 溶接 <input type="checkbox"/> ねじ込み <input type="checkbox"/> TS <input type="checkbox"/> 融着 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ()	
属具	<input type="checkbox"/> 消火栓 <input type="checkbox"/> 空気弁 <input type="checkbox"/> バルブ・止水栓 <input type="checkbox"/> サドル分水栓 <input type="checkbox"/> その他 ()		
被害状況	管路	<input type="checkbox"/> タテ割れ <input type="checkbox"/> ヨコ割れ <input type="checkbox"/> 折れ <input type="checkbox"/> 破断 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	継手	<input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> ゴムリング (切断、ズレ) <input type="checkbox"/> その他 ()	
	属具	<input type="checkbox"/> 機能不全 <input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> その他 ()	
地盤状況	道路状況	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	クラック幅	<input type="checkbox"/> 管直角 方向 _____ <input type="checkbox"/> 水平 方向 _____ cm (1cm 以上を記入)	
		<input type="checkbox"/> 段差 (沈下量) _____ cm (漏洩位置から 15m 範囲内 (全体で 30m))	
	地盤の傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 管軸方向 <input type="checkbox"/> 管直角方向 (傾斜角度 = °)	
液状化	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※近くに噴砂跡はあるか	盛土	<input type="checkbox"/>
舗装構成	舗装厚 _____ cm 路盤厚 _____ cm	土被り	_____ cm
修理に伴う断水戸数			_____ 戸
備考			

復旧 - 7 (裏)

配管図 (施工前)	位置図 (別紙でも構わない)																																																																
配管図 (施行後)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名称</th> <th style="width: 25%;">形質</th> <th style="width: 25%;">単位</th> <th style="width: 25%;">数量・確認</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">掘削機</td> <td style="text-align: center;">m³級</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">m³級</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">トラック</td> <td style="text-align: center;">10t</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4t</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2t</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水替ポンプ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">交通整理員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 t ユニック</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ジャイアント ブレーカー</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運転工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;"> 特記事項 </td> </tr> </tbody> </table>	名称	形質	単位	数量・確認	掘削機	m ³ 級	H		m ³ 級	H		トラック	10t	H		4t	H		2t	H		水替ポンプ		式		作業員		人			H		交通整理員		人		4 t ユニック		H		ジャイアント ブレーカー		H		世話役		人		運転工		人										特記事項			
名称	形質	単位	数量・確認																																																														
掘削機	m ³ 級	H																																																															
	m ³ 級	H																																																															
トラック	10t	H																																																															
	4t	H																																																															
	2t	H																																																															
水替ポンプ		式																																																															
作業員		人																																																															
		H																																																															
交通整理員		人																																																															
4 t ユニック		H																																																															
ジャイアント ブレーカー		H																																																															
世話役		人																																																															
運転工		人																																																															
特記事項																																																																	

管路被害算定表(管種・口径・被害形態別)

作成日時	月 日 :	事業体名・班名	
記入者(氏名)		連絡先	
記入上の留意事項	管種・継手形状ごとに集計する。		

管種・継手								
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明
口径	25mm以下							
	40mm							
	50mm							
	75mm							
	100mm							
	150mm							
	200mm							
	250mm							
	300mm							
	350mm							
	400mm							
	500mm							
	600mm							
	700mm							
	800mm							
	mm							
	mm							
mm								
小計(件)								
合計(件)								
管路延長(km)								
被害率件/km								

管種・継手								
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明
口径	25mm以下							
	40mm							
	50mm							
	75mm							
	100mm							
	150mm							
	200mm							
	250mm							
	300mm							
	350mm							
	400mm							
	500mm							
	600mm							
	700mm							
	800mm							
	mm							
	mm							
mm								
小計(件)								
合計(件)								
管路延長(km)								
被害率件/km								

合計	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明
管路延長(km)							
被害率件/km							

